

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	でいじいおれんじ		
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日		～ 令和7年11月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	令和7年11月1日		～ 令和7年11月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	定期的に日々の活動や行事などの様子を発信している。	毎月のおたよりの発行、毎日のブログ更新等で言葉や文章だけではわからない表情を伝えられるようにしている。	ブログを更新する想いを職員全員が理解し共有していく。 保護者の目線で児童ひとり一人の表情を伝えられるよう写真の撮り方も工夫していく。
2	事業所の理念を丁寧に伝えることで、保護者との情報共有ができています。	『安心・安全・観える』を掲げ、連絡帳や送迎時、必要に応じて電話等で児童の小さな変化も伝えるようにしている。 学校や家庭と連携した支援を心がけている。	関係機関との連携強化に向け、地域の研修への積極的な参加及び情報交換を行っていく。 学校での様子や課題など、細かな情報交換を行い信頼関係の構築に全職員が参画していく。
3	安全の確保及び安心感を持った通所の実現。	各種マニュアルの策定及び配布をしている。 災害を想定した毎月の訓練を実施し、その様子をブログで発信している。 室内の環境構造の定期的な見直しを行い、成長に合わせた活動ができるよう工夫している。	職員への研修・実践訓練を定期的に行い、チーム力を強化していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士、きょうだい児同士の交流会の機会がない。	様々な年齢のきょうだいがおり、交流会のニーズが把握できていない。 現状活動時間に余裕のある長期休暇のイベント時に参観型の保護者交流会を企画してるが、帰省等で参加できない保護者もいる。	屋外活動時なども参加・参観してもらえるよう日程の幅を広げるよう検討する。 その際きょうだいにも参加してもらいきょうだい児同士の交流も図れるようゲームなど企画する。
2	家族支援プログラムの企画または研修会の情報提供が不十分。	現状事業所内でのペアレント・トレーニングが実施できていない。 研修会の案内が限定的（チラシなどが少なくあだち広報などに掲載されていることがある）。	ペアレント・トレーニングの研修会などに参加し、事業所でも開催できるよう努めていく。 研修会の情報があれば詳細サイトのQRコードなどを配布し案内していく。
3	地域や他の子どもとの活動機会を周知できていない。	活動計画などを作成しイベントや他事業所交流に参加してるが、保護者へは事後報告であることが多く利用日以外の家庭への周知が不足している。	イベントや交流会への参加が決まった時点でブログなどで参加予定であることを発信する。日程に余裕がある時はおたよりに記載し、すべての家庭へ活動実施をお知らせする。